

千電協会報



一般社団法人

千葉県電業協会

2018. 1 第44号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会 長	五十嵐 治 美
千葉県知事	森 田 健 作
千葉県県土整備部営繕課 課長	小 湊 宏 明
(一社) 日本電設工業協会 会長	後 藤 清

● 1年を振り返って

- ・第55回通常総会・懇親会
- ・平成29年度地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会 「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

「藍綬褒章受章をうけて」	竹森電設 (株)	竹森 久男
「福島県の被災地調査を終えて」	(株) 三和電設	南山 和也
「2017年度 ゴルフ同好会」	共立電設 (株)	植草 宏介

● 新入会員紹介 (計 2社)

(株) 東葉テクノ (株) 根本電気工業

● 賛助会員広告 (弱電・火報部門 計 4社)

● 会 員 消 息

● 会 務 報 告

● 総 会 日 程 案 内

● 協 会 役 員

● 組 織 表

● 会 員 名 簿

● 編 集 後 記



(表紙等の写真)

成田山新勝寺 (成田市)

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

五十嵐 治 美

新年明けましておめでとうございます。

2018年の年頭にあたり、謹んで初春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様はもとより関係者の皆様方には、日頃より協会活動に対しご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本経済は緩やかではありますが回復基調にあります。昨年11月には日経平均株価が一時2万3千円台となり、26年ぶりの水準まで上がったと報じられました。輸出の回復や為替レートの安定により、企業収益が全般的にプラス傾向となっています。設備投資、個人消費の伸び悩みはあるにせよ、今年の景気はさらに上昇に転じると言われております。有効求人倍率が1.5倍を超え、完全失業率が2%台に減少し、バブル期並みの数字に近いものになっています。

このような経済・社会現象の中で、全産業において「人手不足」「人材不足」がいよいよ表面化し深刻な問題となってきました。以前からの課題となっていました「人材確保」「人材育成」を本格的に取り組まねばなりません。現実として建設業は若手の入職希望が低い産業ですから、新人や女性の受入れに際し、他産業よりも力を入れて職場環境の改善や教育訓練の充実をさらに整備する必要があります。

国は少子高齢化が進む中でも「50年後も人口1億人を維持し、職場・家庭・地域で誰もが活躍できる社会」をスローガンとして掲げ、一昨年より「働き方改革」の実現に向けての取り組みが始まりました。近い将来には生産力の低下、それによる国力の衰退が避けられないこととして、国民の誰もが活躍できる職場環境を整備していこうというものです。女性や高齢者の働き手を増やす、出生率の上昇、労働生産性の向上を目指すために、長時間労働の改善、非正規と正社員の格差是正、高齢者の就労促進を3つの課題としています。

私たちの管轄所管である国土交通省も「働き方改革」の実現に向け、建設業に向けた担い手3法の趣旨となる「適正利潤の確保」や「歩切りの根絶」「ダンピング対策」の取り組み強化と、「建設キャリアアップシステム」の構築により、適切な賃金確保を目指して

います。また、社会保険の加入促進や長時間労働の抑制、完全週休2日制の実現による職場環境の改善を進めています。

建設業界を取り巻く状況は、6年前の国の経済政策により建設投資は増加に転じましたが、2017年は千葉県内の建設業における公共工事はやや減少した模様です。東京周辺に位置する他県と比べ、千葉県の建設業の受注状況は今でも厳しい状態が続いています。まずは安定的かつ継続的に公共事業費が確保され増額に転じていかななくては、この改革の継続推進は非常に困難なものとなります。私たち電業協会としては県に対し、「働き方改革」を少しでも前進できるよう「施工の効率化及び書類の簡素化」「設備担当者の積極的な工程調整」「公共工事の安定的な仕事量の確保と施工時期の平準化」の3つの点をお願いしております。

昨年から「魅力ある協会創り」の一環として、従来からの事業に加え将来に向けた新たな実践的取り組みを進めています。

防災・渉外委員会では、福島県（福島県電業協会）を訪れ、東日本大震災の震災後の状況や復旧活動内容、復興計画の検証、防災・減災に関する知識や備えについて研修をさせて頂きました。この交流によって、定期に行う安全・防災研修会には福島県電業協会から講師を招き、震災時から復興までの6年間のさまざまな課題と取り組みについて協会員全員も周知することができました。取り組みの一つ目は、今後被災した他県の訪問調査を進め、現実的な震災対応について見直しを図ります。

総務・企画委員会では、例年の工業高校への出前事業の他に、CCIちばと連携し、県内の2小・中学校へ建設業全体の魅力を伝える「千葉県の建設業の仕事～建設現場をのぞいてみよう～」と題した授業に講師を派遣しました。取り組みの二つ目は、これから進路を決める小・中学生が「ものづくりの楽しさに」に少しでも興味を持っていただけるよう他業種の方と連携して出張授業を推進していきます。

技術・人材委員会では、技術力の確保と職場の定着率向上のため「中長期的な新人教育、技術者研修」をテーマとした人材育成事業をスタートさせようと思案中です。取り組みの三つ目は、千葉職業能力開発促進センターポリテクセンターと研究会を立ち上げキャリアアップシステム構築の検討を進めていきます。

各委員会での活動は従来 of 事業を消化するだけでも大変なことですが、委員の方々には現業をこなしながら協会活動に時間を割き、また限られた予算の中で新たな分野にも目を向けていただいております。

さて今年も「協会は誰のためにあるのか」を念頭に置き、会員各社の益々の繁栄が協会の発展の源となり、それが電設業界全体の地位向上と社会的貢献に繋がると確信しております。

新しい年を迎え、会員の皆様そして御家族の皆様にとって健康で素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

森田健作



明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃より、皆様には、技術の研さん、品質の向上、安全性の確保等に取り組まれるなど、本県の電気業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、県では、新総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元気プラン」を策定し、更なる発展と飛躍に向けた一歩を踏み出しました。

この計画のもと、未来の千葉を担う次世代を見据え、人口減少、少子高齢化等の課題に対応し、本県の強みを生かした交流基盤・ネットワークの整備活用など、横断的な視点を持って各種施策を展開してまいります。

具体的には、「子育てするなら千葉！」の実現を目指し、保育所等の整備や待機児童の解消などに積極的に取り組むとともに、「保健医療計画」等を改定し、医療・介護人材の確保・定着、効率的で質の高い医療提供体制の構築、障害のある人の地域生活への移行の推進等を図ります。

県民の「安全と安心」については、東日本大震災などの教訓を忘れず、「災害に強い千葉県づくり」に努めます。また、防犯ボックスや防犯カメラの設置促進等により、地域防犯力の一層の向上を図るとともに、関係機関と連携して、「電話 de 詐欺」の撲滅に向けて取り組みます。加えて、「交通安全県ちば」の実現を目指し、官民一体での取り組みを推進します。

社会基盤の整備では、成田空港の第3滑走路の整備等の更なる機能強化が検討されており、地域の意見を真摯にお聞きしながら、しっかりと取り組むとともに、圏央道の平成36年度の全線開通や北千葉道路の未事業化区間の早期事業化に向けて取り組みます。

県経済の活性化については、「第4次ちば中小企業元気戦略」を策定し、中小企業に向

けた施策の充実を図るとともに、戦略的な企業誘致を推進します。また、働き方改革や女性活躍の推進等の取組みも進めていきます。

農林水産業については、販路拡大や生産力強化等に取り組み、力強い農林水産業を創り上げます。台湾での県産農林水産物の輸入規制の早期解除については、昨年11月に訪台し、政府要人や台湾の皆様へ安全性等を訴えたところであり、今後も積極的に取り組みます。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、7競技の会場となる幕張メッセの大規模改修や、サーフィン会場となる一宮町釣ヶ崎海岸での自然公園整備などを進めるとともに、ジュニア選手等の育成を強化し、機運を盛り上げてまいります。

今年10月21日に開催する「ちばアクアラインマラソン2018」では、参加される選手や応援客の皆様を日本一のおもてなしの心でお迎えします。

次世代を担う子どもたちが誇れるような光り輝く千葉県へさらに飛躍するため、本年も全力で取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、年頭のあいさつといたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

小 湊 宏 明



新年明けましておめでとうございます。

一般社団法人千葉県電業協会の会員の皆様には、千葉県の営繕行政の推進にあたり、日頃より御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。

千葉県が整備を行う公共建築物は、様々な行政サービスを提供する拠点として、また、災害対策の拠点として、地域や環境と調和し、地震や台風などの災害にも強い、優れた品質の施設とすることが必要とされております。さらに、近年は機能性、安全性などの基本的性能に加えて、長寿命で環境にも人にも優しく、かつランニングコストも低いなど、より高い性能や配慮が求められています。

現在、県の施設は、築30年以上の建物が約7割を占めており、公共施設としての安全・安心や求められる行政サービス水準を確保しながら、財政負担の軽減・平準化等を見据えた長寿命化等の取り組みが大きな課題となっています。

このため、県では、平成28年2月に「千葉県公共施設等総合管理計画」を策定し、従来の事後保全対応から、今後は、定期的な点検・診断に基づく計画保全を実施することにより、建物の目標使用年数を80年とすることとしたほか、必要な施設を的確に選定し、既存施設の有効活用など効率的・効果的な施設総量の適正化を図ることにより、今後30年間で施設総量を15%縮減することとしています。

また、昨年11月には「千葉県県有建物長寿命化計画」を策定し、具体的な建物整備計画を作成したところであり、今後5年間に着手を目指すもの、10年間に着手を目指すものについて、施設名や建替え、大規模改修といった現時点での整備手法を示したほか、地域の防災活動拠点としての機能強化のための合同庁舎化について、積極的に進めることとしております。

昨年8月に竣工し、11月に業務開始した「香取合同庁舎」は、老朽化が進んでいた旧合同庁舎など5庁舎を集約したものであり、まさに今後の県有施設のあり方を具体化した

ものといえると思います。

さて、東京オリンピック・パラリンピックまで、あと1000日を切り、国立競技場をはじめとする施設整備やマスコット選定の投票も始まり、オリンピックムードは盛り上がりを見せています。

本県においても、オリンピックの3競技、パラリンピックの4競技が開催される幕張メッセでは、トイレリニューアルやエレベーターの増設など改修工事が本格化しております。

また、サーフィン競技が行われる一宮町の釣ヶ崎海岸では、レガシーとなる施設の整備に向け準備が進んでいると聞いています。

今後も、「千葉県県有建物長寿命化計画」に沿った建替えや大規模改修、東京オリンピック・パラリンピックに向けた幕張メッセの改修のほか、学校体育館の天井撤去工事など、多くの工事が予定されております。一方、施工に際しては、LED照明の採用や太陽光パネルの設置など省エネや環境負荷の低減に対する配慮も求められます。これらの実行のためには貴協会の皆様をはじめ関係業界の皆様の協力が不可欠であることは言うまでもありません。

多くの専門技術者を擁し、豊富な経験を有する貴協会の会員の皆さまにおかれましては、電気設備業界のリーダーとして、引き続き千葉県の営繕行政に御協力くださいますようお願いいたします。

併せて、最新技術の習得と後継者の育成につきましても引き続き御尽力いただけることを期待しています。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会の更なる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

後藤 清



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

私たち日本電設工業協会は、本年7月、創立70周年を迎えます。戦後復興から高度経済成長、そして現在に続くまでの長きに亘り、関係省庁を始め、多くの皆様のご支援をいただきながら、その時代や地域のニーズに合った良質な電気設備の供給、整備、保全に携わることで、日本に暮らす人々の生活を支え、そして、日本の経済発展の一翼を担ってまいりました。

私たちが係わる社会インフラ「電気設備」は、国民生活や経済・産業活動において欠かすことができず、今後この重要性が益々増していくことを鑑みると、当協会に課せられる使命も一層重くなると認識しております。

本年度も、私どもは「夢と生きがいのある電設業界を目指して」をキーワードに、「担い手の育成及び確保と生産性向上」、「適正な工期・適正な価格での受注の確保」、「分離発注の促進」、「電力新時代への対応」、「国際貢献、海外展開の取組」の5つの重点目標を盛り込んだ「新アクションプラン」を、皆様のご指導を賜りながら展開し、将来に亘り社会インフラの構築・維持の使命を果たせるよう、電気設備工事業界の発展に向けた取り組みを行ってまいります。

特に、我々の業界にとって人材の確保は最大の課題、一丁目一番地の課題です。若い人にとって働きやすい魅力ある職場環境の実現を目指し、長時間労働の是正など働き方の改革を進めるとともに、これとあわせて、新技術の導入・活用の促進なども含め、生産性の向上にも取り組んでまいります。

本部・支部及び都道府県協会が手を携え、更には関係機関・団体との連携を強化してまいりたいと考えておりますので、本年も引き続きご支援、ご協力を賜れば幸いです。

結びに、皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



1 年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第55回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成29年 5月24日 オークラ千葉ホテル	第55回通常総会 ・第1号議案 平成28年度事業報告について ・第2号議案 平成28年度収支決算について ・第3号議案 会費改定について ・第4号議案 平成29年度事業計画について ・第5号議案 平成29年度収支予算について	出席 48人 書面 27人 委任状 23人 計 98人

第55回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
平成29年 5月24日 オークラ千葉ホテル	来賓 23名 会員 45名 賛助 29名 計 97名

功労者表彰 (委員として貢献)	千葉電建(株) 小川 敬幸 氏
	富田電機工業(株) 富田 一郎 氏



地区別会員交流会

地区別	開催日	会 場	出席者
千葉・市原地区	8月 4日(金)	東天紅(千葉市)	地区会員16社17名
東葛・葛南地区	8月24日(木)	鈴木屋(我孫子市)	地区会員21社22名
北総・東総・山武・長生地区	8月 3日(木)	メルキュールホテル成田(成田市)	地区会員 9社 9名
夷隅・安房・君津地区	8月25日(金)	鴨川館(鴨川市)	地区会員12社12名



三県連絡会議

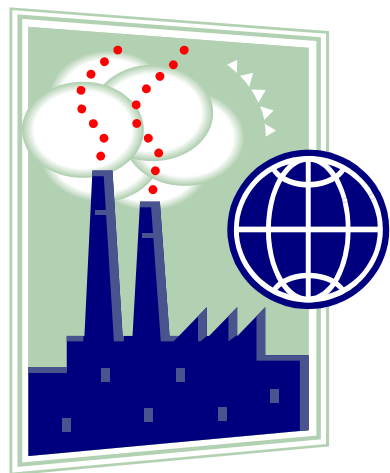
開催日時、場 所	内 容
平成29年 11月21日(火) 東京電業会館	(提出議題) ・社会保険未加入問題に対する各県の状況及び実情について ・働き方改革推進のため、各県での生産性向上に対する取組について ・訴訟リスクを減らすための会社規程について ・人材育成・確保に向けた各県の取組について ・働き方価格、とりわけ週休2日制確保モデル工事に対する各県・政令指定都市の取組状況について

出席者数	
千葉県	5名
神奈川県	5名
埼玉県	17名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
11月25日(土) 千葉工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による競技 ・大会参加者 県内9校 180名 	審査員 4名 ※千葉県電気工事工業組合と合同派遣	9/4 事前打合せ 10/17 事前打合せ



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



防災・渉外委員会の平成29年度の活動についてご報告申し上げます。

災害防止事業としては、継続して千葉県電業協会防災隊の体制を維持していくことはもちろんですが、体制の改善につなげるべく、東日本大震災の被災地である福島県に視察を行いました。また、防災研修会では視察の際にお世話になった福島県電設業協会から講師をお招きし、会員の皆様にもリアリティのある講義を聞いてもらうことが出来たと思っております。

また、皆様のご協力のもと4年ぶりに施設確認を実施し、その報告で、各出先機関を廻りました。

公共工事発注機関への陳情・提言等としては、例年の活動に加え、千葉県道路環境課への道路照明灯のLED化の推進について陳情を行いました。

昨年は、技術・人材委員会も視察を踏まえたBCPに関する研修会を実施して頂いたり、LED化の陳情用資料は、総務・企画委員会で作成してもらいました。新年度も、引き続き、両委員会と連携を取って、防災活動をブラッシュアップしていくとともに、それを、渉外活動、ひいては、増注活動につなげていく意識をもって、委員会活動に取り組みたいと思っております。

会員の皆様にも引き続き活動への御支援・御協力・御意見を頂けますようお願い申し上げます。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

開催日時、場所	内容	出席者・対象等	備考
平成29年 8月29日	情報伝達訓練	全会員 109社	
11月6日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	本部 9名参集 地区 16名実働	県内全域

②県出先機関防災説明

実施日	内容	出席者・対象者	訪問先
平成29年 6月6日～ 7月11日	災害応急対策組織及び災害応急 業務について	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関 21事務所

③その他災害応急対策に係る事業

開催日時、場所	内 容	出席者・対象等	備 考
平成29年 6月9日 いわき市	被災地調査(福島県)	五十嵐会長 佐藤副会長、南山理事 會田理事、細矢理事	(一社)福島県電設業協会 岡田電気産業(株)本社
6月～7月	担当施設調査	全会員	
平成29年 7月27日 オークラ千葉ホテル	防災研修会 テーマ 東日本大震災を経験して 分かった課題と準備 講師 (一社)福島県電設業協会 監事 蛭田 淳 氏 (岩電機工事(株) 代表取締役)	会員 78名	
9月～10月	担当施設調査の報告	・委員・地区隊長 ・事務所隊長・班長	21出先機関対象

(7)公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 先	陳 情 者	内 容
平成29年 4月11日	県土整備部 教育庁 他 公 社 2社	会長、副会長3名 常務理事	・県異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
6月	県出先機関 21土木事務所 他 59か所	地区担当理事 防災・渉外委員 他	・県異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について
9月 6日	県土整備部 道路環境課	会長、副会長2名 防災・渉外委員長 常務理事	・道路照明 LED 化の更なる推進について ・発注に際して、協会員の優先指名について
9月12日	県土整備部 営繕課 施設改修課 教育庁企画管理部 財務施設課	会長、副会長3名 防災・渉外委員長 常務理事	県との意見交換会 ・施工の効率化、簡素化について ・設備担当者の積極的な工程調整について ・安定的な仕事量の確保と施工時期の平準化について ・設計変更について ・工事完了確認について ・外国人労働者に関する提出書類について ・指名競争入札における業者選定について ・分離発注について
11月 9日	千葉県	五十嵐会長 鎌形常務理事	意見交換会
12月13日	関東地方整備局	五十嵐会長	意見交換会

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。

委員会報告 技術・人材委員会

委員長

細 矢 充



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、関係各位のご協力を賜り、経営に役立つ研修会をはじめ技術向上・資格取得・営業活動支援など年度計画通り実施することが出来ました。会員企業から数多く参加を頂き、各事業とも盛会で終えることができました。深く感謝申し上げます。

2020年、オリパラ東京大会まで早いもので2年と数か月と迫りました。世界的行事に胸が躍ります。また、インバウンド効果や設備投資など経済波及効果にも大いに期待したいところです。会場周辺を中心にインフラ整備は急ピッチで進み、電設業界においても、技術者・労働力不足が至近の課題となっています。また、少子高齢化から技術者不足はさらに深刻化します。

技術・人材委員会では、会員各位の技術の研鑽、経営品質の向上、安全確保を目指し、委員会活動を進めております。今年は、積極的に人材育成プログラムの策定や男女共同参画活動に取り組み、“技術と信用”を高めたいと考えています。

引き続き、関係各位や会員の皆様からご支援・ご鞭撻を頂き、よりお役に立てる『技術・人材委員会』を目指してまいります。本年も何卒、宜しく申し上げます。

(3)講習会事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	結果等
平成29年 4月24日 25日	1級電気工事施工管理技術 検定試験受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 28名 非会員 7名 地域開発 39名	筆記試験合格率 全国 48.0 % 協会 51.5 %

(4)事故防止事業

①安全研修

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成29年 7月27日 オークラ千葉ホテル	安全研修会 「電気設備工事の安全対策について」 講 師 県土整備部技術管理課 建築・設備検査室 主幹 鈴木 功 氏	会員 78名

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
平成29年 11月29日 Ocean Table	賛助会員との情報交換会	賛助会員 16名 協会出席者 役 員 6名 委 員 5名

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
平成29年 4月4、5、6日 オークラ千葉ホテル	新入社員研修会 (千葉県建設産業連合会 共催)	会 員 5名
平成29年 9月27日 オークラ千葉ホテル	経営講習会 テーマ「災害時に必要な建設業のBCPとは ～作成方法と事例紹介も含めて～」 講 師 (株)建設経営サービス 主席コンサルタント 橋本 秀和 氏	会 員 24名
11月29日 オークラ千葉ホテル	技術研修会 ・「補助金の最新情報 ～これからの補助金の流れ、仕事に役立つ補助金～」 講師:パナソニック(株)エコソリューションズ社 電材営業開発部 事業企画課 課長 新井田 洋一 氏 ・「省施工、省エネの一考察 ～これからはLAN配線が無くなる? PLC配線の可能性～」 講師:パナソニック(株) IOT 推進室 全社 PLC 技術担当 主幹 宮崎 富弥 氏 ・「営繕電気設備工事の積算等について」 講師:千葉県県土整備部営繕課 企画調整班 副主幹 堀澄 哲雄 氏	会 員 43名 賛助会員 10名



委員会報告 総務・企画委員会

委員長

中村和彦



新年明けましておめでとうございます。

総務・企画委員会より、昨年の委員会報告をさせていただきます。

当委員会のメイン事業である就労支援事業がいまいちパツとしません。工業高校からの受け入れ(インターンシップ)、または専門学校、ポリテク関係と様々なところに出前授業等で出向き、就労支援の活動を行っておりますが、いざ就職となると、なかなか当協会の会員の皆様のところに就職したという話はあまり聞こえてきません。

今は種を蒔いている時期なのだと我慢してコツコツと続けた方が良いのか、方向転換して頭を切り替えた方が良いのか悩みどころです。システムや形は出来上がっていると思いますが、それに比べると手ごたえを感じるような実績が少ないのです。

正月早々ネガティブな話になってしまいましたが、総務・企画委員会としては今年、正念場を迎えております。手厳しいアドバイスもお聞きしますので、皆様のご意見・ご協力・ご理解をいただきまして、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

就労支援事業

開催日時、場所	内 容
1月18日 ポリテクカレッジ千葉	出前授業
2月 2日 千葉工業高校	出前授業
2月 8日 市川工業高校	出前授業
2月27日 京葉工業高校	出前授業
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等)
6月 県内工業高校等9校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての調査
11月22日 東金市立福岡小学校	CCIからの要請による出張授業(電気)

広報関係

開催日時、場所	内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局